

【新型コロナウイルス感染防止のための運営ルール】

さいたま市スポーツ少年団バスケットボール部会

【事前の健康観察】

- ・ 当該試合2週間前からチーム全員分（指導者・保護者含む）の健康状態を管理する
- ・ 当日の健康管理は各チーム出発前に行い、体調不良の方の参加は認めない

【大会会場での提出物】

- ・ 選手・指導者・保護者（会場に来ている全関係者）
 - － 健康チェックシート（参加チーム用）
 - ➡小学校会場・・・会場責任チームに提出
 - ➡公共体育館・・・総務担当に提出

【大会期間中】

- ・ 以下の場合は参加しない（選手・指導者・保護者含む）
 - － 体調がよくない場合
 - － 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
 - － 過去14日間以内に渡航制限地域への渡航がある場合
- ・ 試合当日から試合後2日以内に参加者（選手・指導者・保護者含む）の感染が判明した場合、さいたま市スポーツ少年団バスケットボール部会に報告する

【会場内】

- ・ 会場内への入場可能人数
 - ➡小学校会場・・・1チーム20名以内
 - ➡公共体育館・・・1チーム25名以内
- ・ 原則、全員マスク着用
- ・ 窓開け換気の徹底
- ・ アルコール等の消毒類を各チームで準備する

【コート運営】

- ・ ベンチにはアルコール消毒を設置する
- ・ ベンチの間隔は可能な限り空ける

【試合前】

- ・ コート上の選手及び審判以外はマスク着用
- ・ コートに立つ前には必ずアルコール消毒を行う
- ・ 飲料ボトルおよびタオルの共用禁止
- ・ 審判の飲み物は各自で準備し、会場チームからの提供は行わない
- ・ 選手の不要な密集、円陣、ハイタッチ、握手、抱擁は行わない
- ・ 審判も常にソーシャル・ディスタンスを心掛ける

【試合中】

- ・ 指導及び応援は拍手などを活用し大声では行わない
- ・ ハーフタイム中は審判、T.O、チームスタッフおよび選手は、手指消毒を実施する
- ・ 交代した選手は手指消毒の後、呼吸が落ち着くまでベンチ後方で待機する
- ・ 審判は電子ホイッスルを使用してもよい

【試合後】

- ・ 試合終了後の挨拶はセンターライン上のみとする
- ・ 両チーム選手のタッチは行わず、両チーム、審判、T.Oは速やかにコートから離れる
- ・ 試合後は手指消毒を実施する
- ・ 次の試合のチーム関係者、審判、T.O は、利用したベンチのアルコール消毒終了後コートに入る（消毒は試合を行ったチームで行う）
- ・ 試合及びT.Oが終了したチームは速やかに退出する

※その他 上記内容のほか、会場施設管理者が定めた感染防止対策措置の内容も確認し、遵守すること